

●一次検査結果

	対象者数 (人)	受診者数 (人)		判定率 (%)	結果判定数 (人)			
		受診率 (%)	うち県外 受診		判定区分別内訳 (割合 (%))		二次検査対象者	
					A	A 2	B	C
合計	66,542	4,193(6.3)	1,600	4,054 (96.7)	1,761(43.4)	1,938(47.8)	355(8.8)	0 (0.0)

A判定：91.2%

●二次検査結果

	対象者数 (人)	受診者数 (人) 受診率 (%)	確定率 (%)	結果確定数 (人)			
				次回検査		通常診療等	
				A 1	A 2	うち細胞診受診者	
合計	271	229(84.5)	218(95.2)	4(1.8)	14(6.4)	200(91.7)	23(11.5)

※小数点第一位で示されている割合は、四捨五入の関係で合計が100%とならない場合がある。

●細胞診結果

悪性・悪性疑い 9人 男性：女性 1人：8人
 平均年齢 30.0±0.5歳（29-31歳）、震災当時17.6±0.7歳（16-18歳）
 平均腫瘍径 13.1±3.7mm（9.8-19.0mm）

●悪性・悪性疑い9人のうち、手術実施4人（乳頭癌4人）

第56回福島県「県民健康調査」検討委員会資料より作成

本格検査（検査5回目）の実施期間中から（2020年度から）、本格検査の一部として、30歳になる年度に実施する検査を開始し、一次検査はこれまで実施した1992年度から1994年度生まれの対象者、二次検査は1992年度から1993年度生まれの対象者に対する検査の結果を示します。

一次検査でA判定は全体の91.2%、B判定は8.8%、A 2判定の大半は20mm以下ののう胞、B判定の大半は5.1mm以上の結節、という傾向はこれまでの結果と同様でしたが、対象者の年齢がさらに高いため、B判定率および結節の発見率は本格検査（25歳時の節目の検査）と比較して高くなっていました。

二次検査では、穿刺吸引細胞診の結果、9人の方が悪性ないし悪性疑いとなっています。

本資料への収録日：2024年3月31日

改訂日：2026年3月31日